

# 全国大学書写書道教育学会 第 32 回(東京大会)大会開催要項 (第 2 次案内)

下記の通り、第 32 回大会を開催します。多数ご参加ください。

1. 主 催 全国大学書写書道教育学会
2. 後 援 東京都教育委員会(申請中)
3. 開催大学 東京学芸大学
4. 期 日 平成 29 年 10 月 1 日(日)
5. 会 場 東京学芸大学 中央講義棟(C 棟) 西講義棟(W 1 1 0)  
所在地 〒184-8501 東京都小金井市貫井北町 4-1-1
6. 参加費 3,000 円(※大学院生 2000 円)
7. 日 程

9 : 00 ~ 9 : 25 受付 (C204 前)

9 : 30 ~ 12 : 00 ◆課題・自由研究発表

〈第1分科会〉 C 2 0 3

司会 津村幸恵(千葉大学)

9 : 30 ~ 9 : 35 発表と質疑等の案内

[1-1] 9 : 35 ~ 10 : 05

基本点画の毛筆での書き方の実態調査と効果的な指導法—学び合いを中心として—

千葉大学教育学部附属小学校 芹澤麻美子

[1-2] 10 : 10 ~ 10 : 40

常用漢字の構成要素とその筆順構造の分析

高崎健康福祉大学 菅野陽太郎  
入善町立ひばり野小学校 寺島 薫  
上越教育大学 押木 秀樹

[1-3] 10 : 45 ~ 11 : 15

書字における文字間の空筆部に見られる動作の分析と考察—始筆点に戻る動作の要因と条件—

上越教育大学 押木 秀樹  
長野市立緑ヶ丘小学校 平田真理子  
組合立小海中学校 遠藤 奈帆  
胎内市立築地中学校 水口 剛志

〈第2分科会〉 C 2 0 4

司会 鈴木慶子(長崎大学)

9 : 30 ~ 9 : 35 発表と質疑等の案内

[2-1] 9 : 35 ~ 10 : 05

「アクティブ・ラーニング」の手法を取り入れた書写の授業—「学習活動」と「指導法の工夫」の視点から—

東京都府中市立本宿小学校 仁田幸一郎

[2-2] 10 : 10 ~ 10 : 40

戦後における芸能科「習字」批判に関する再検討

帝京科学大学 鈴木 貴史

[2-3] 10:45~11:15

昭和初期における書字学習と書方教科書

新潟大学 清水 文博

〈第3分科会〉C303

司会 荒井一浩(東京学芸大学附属高校)

9:30~9:35 発表と質疑等の案内

[3-1] 9:35~10:05

幼児期における文字との関わりと保育者の文字指導観

南九州大学人間発達学部 藤本朋美

[3-2] 10:10~10:40

中国における書法教育に関する研究 —書法教員の養成を中心に

東京学芸大学 教育学研究科 張 月

[3-3] 10:45~11:15

現代イギリスにおける Handwriting の教育目標及び教材に関する考察

—「1988年教育改革法」制定当時のナショナルカリキュラムに準拠した在り方との比較—

信州大学教育学部 小林比出代

11:30~12:30 ◆総会(西講義棟 W110)

12:30~13:20 昼食

12:30~13:20 全国大学書写書道教育学会若手懇話会 C103)

13:30~16:20 ◆シンポジウム(西講義棟 W110)

新学習指導要領における国語科書写の要点と実施に向けた課題

コーディネータ 宮澤 正明 氏(山梨大学大学院・教授・本学会会長)

パネリスト 加藤 泰弘 氏(東京学芸大学・教授)

青山 浩之 氏(横浜国立大学・教授)

松本 仁志 氏(広島大学大学院・教授)

16:30 閉会

## 8. 学会誌への論文投稿

大会における口頭発表等を論文として学会誌『書写書道教育研究』に掲載することを希望する場合は、当学会ホームページ(<http://www.jacse.org/>)掲載の執筆要領によって投稿してください。

原稿の締め切りは、12月10日(日)。なお、学会誌掲載の可否は査読によって決定されます。

(略)

## 10. 若手研究者による懇話会

日時 10月1日(日) 午後12時30分~午後1時20分

会場 東京学芸大学 中央講義棟C棟 C-103

## 11. 懇親会(三学会合同)

日時 9月30日(土) 午後6時~午後8時

会場 東京学芸大学 第二むさしのホール2階

会費 3,000円(\*大学院生 1,500円)

(以下略)